

黄金獅子

江連 博

渦巻く黄金獅子のたてがみの中に埋まる
猿王のおれは

つるつるの禿頭王を午前の森影に虐殺し
夜ごと石女の樹皮のような紡錘の脚を
思うのである

おれは黄金獅子の闇の中に生まれ
その流れたるたてがみの中に溺れ
やがて蛇の卵殻の中に閉ざされていく
無花実の樹の闇の中に埋まり

爬虫類の森の中に死んでいく
裸身の鳥たちは風景の裏側にのがれ

黄金の水面を夢みている

あふれおちる聖水盤を夢みている

おれは黄金の果実の中に眠り

黄金の時間の中に目覚める

黄金の海の中の盲目の魚

黄金の空の中の盲目の鳥

さればこの腐爛するたまゆらの時を

死せる猿王とともに聖樹となることを願うのである

輝き落ちる幻花の中に埋もれていく

平黄金獅子の薄紫の闇の中に消え果てる